

家庭学習の手引き



苫小牧市立沼ノ端小学校

目 次

1. 目 次	P1
2. 「家庭学習」の考え方	P2
3. 「家庭学習」の概要	P3
4. 低学年期の「家庭学習」	
(1) 1年生「家庭学習」行い方	P4
(2) 2年生「家庭学習」行い方	P5
5. 中学年期の「家庭学習」	
(1) 3年生「家庭学習」行い方	P6
(2) 4年生「家庭学習」行い方	P7
6. 高学年期の「家庭学習」	
(1) 5年生「家庭学習」行い方	P8
(2) 6年生「家庭学習」行い方	P9
7. 「おすすめの学習」	P10

沼ノ端小学校「家庭学習」の考え方

沼ノ端小学校では「社会の急激な変化を乗り越え未来を切り開いていく力」が求められる今、子どもたちにはその学力基盤として「**自ら進んで学ぶ力**」を育成することが大切だと考えています。これは学校の授業だけでなく、家庭での学習においても培いたい力です。

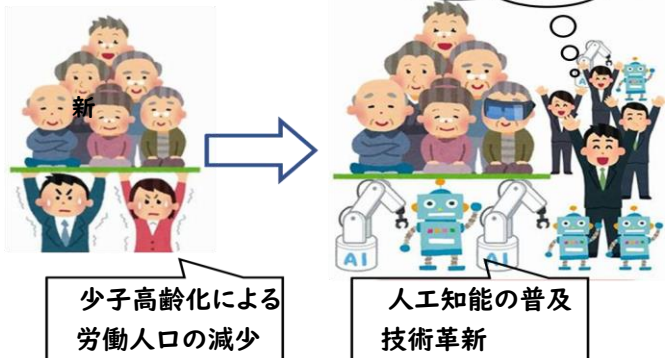
学校教育目標

進んでよく考える子ども（知）
力を合わせてやりぬく子ども（徳）
健康で明るい子ども（体）

主体性をもって家庭学習に
取り組み、自ら学ぶ子



○育てたい力



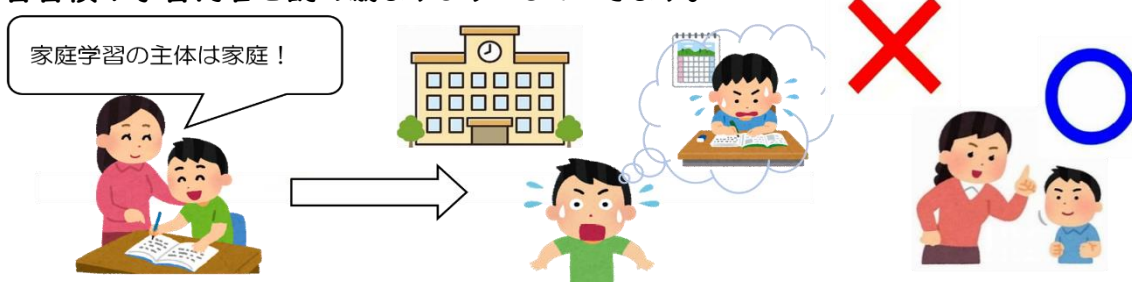
少子高齢化社会による労働人口の減少。今後の社会は、人工知能による新たな社会（Society5.0）へと発展していきます。

そこで、これからの子どもたち（未来をつくっていく担い手）に必要な力は、**探求する力、自分で課題を見つけて考えていく力**だと考えます。

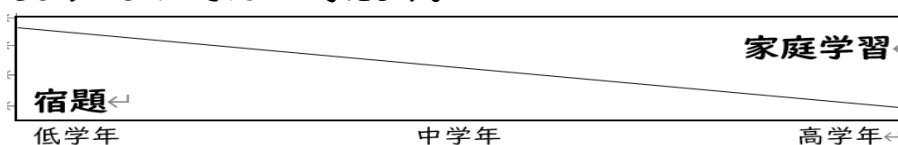
自分自身で課題をもって取り組むことで、目的に合った「学び方」の向上や各教科の見方や考え方の広がりや深まりをもたらし、**一人一人の可能性を広げる**ことにつながられます。

○学校での取り組み

家庭での学習については、児童一人一人が自分のためになる学習に取り組むようにしたいと思います。「家庭学習」の主体は、あくまでも家庭（児童本人・保護者）となります。学校では、家で学習していないことを叱ったり咎めたり、休み時間に取り組ませることをやめ、児童理解の一環として、家庭での学習習慣や学習内容を認め励ますようにしていきます。



また、宿題については、各学年の発達段階や必要に応じて出します。学年が進むにつれて家庭学習が主体となるようにしていきたいと考えます。



本来の役割を整理した上で「児童の成長最優先」で考えたことと、ご理解ご協力を賜りますようよろしくお願いします。

自主性重視の「家庭学習」(概要)

◆低学年(1, 2年生)

目標「家で勉強する習慣を身に付けること」目標時間…1年生20分、2年生30分

- ・基礎的な学力を身につけるという観点から、漢字ドリルや計算ドリル、音読カード等を有効に活用する。
- ・最初の5分間を集中して取り組めるようにする、学習に対する集中力と粘り強さを身につけるため。

保護者の皆様へお願い

- ・学習環境づくり…お子さん任せにすることなく、学習環境を整える働きかけをしましょう。家庭学習に取り組み始めたことを、必ず見届けましょう。
- ・答え合わせ(マルつけ)…できたことは大いに褒め、つまずいたときには優しくアドバイスし、できるまで寄り添いましょう。そうすることで、どんどん勉強が好きになっていきます。

◆中学年期(3, 4年生)

目標「自主性と持続力を身に付けること」目標時間…3年生40分、4年生50分

- ・自分で考えた計画表をもとに学習する。
- ・「自主学習」にも少しずつ取り組めるようにする。まずは、その日の授業の復習などから始め、自分のやりたいこと、調べたいことなどを学習していく。
- ・最初の10分間を集中して取り組めるようになると、学習に対する集中力と粘り強さを高められる。
- ・学習環境を、自分でつくるように意識する。

保護者の皆様へお願い

- ・見届けること…お子さんが家庭学習を始めるまで見届けてください。学習場所を、お家の方から見える場所にすると効果的です。
- ・やり直しているかどうかの確認…マルつけは自分でできるとよいです。間違えた問題をやり直すことで、着実に学力は向上します。

◆高学年(5, 6年生)

目標「課題設定力と持続力を身に付けること」目標時間…5年生60分、6年生70分

- ・自分で考えた計画表をもとに学習する。
- ・進んで「自主学習」に取り組めるようにする。いろいろな学習について興味をもてるように、工夫を凝らして学習できるとよい。知りたい、学習してみたい、調べてみたいと思った内容にすると、意欲的に取り組むことができる。
- ・最初の20分間を集中して取り組めるようになると、学習リズムが身に付き、集中して長時間学ぶ力が身に付く。
- ・自分で「学習環境」づくりをする。

保護者の皆様へお願い

- ・見守ること…中学年期までできていたことが、できなくなることもあります。確実な定着のために、見守りをお願いします。
- ・やり直しているかどうかの確認…間違えた問題をやり直すことで、着実に学力は向上します。

1年生「かてい学しゅう」のおこないかた

～学しゅうの じゅんびは ひとりでできる～

☆めあて

- ① いえにかえったら、きまったじこくに がくしゅうを はじめましょう。
- ② まいにち かならず がくしゅうを しましょう
- ③ がくしゅうは、テレビや どうがを みないで やりましょう。

☆かてい学しゅうのまえに！

- ・ がっこうからの おたよりは、おうちの人に わたしましたか。
- ・ がくしゅうするばしょは、かたづいて いますか。
- ・ しせいや えんぴつの もちかたは 正しいですか。



☆かてい学しゅうのないようやほうほう

- ① **音どくの れんしゅう**
 - ・ 大きな 口を あけて よみましょう。
 - ・ すらすら よめるようになるまで れんしゅう しましょう。
- ② **も字の れんしゅう(ひらがな、カタカナ、かん字)**
 - ・ ドリルや きょうかしよのもんだいを よくよんで やりましょう。
 - ・ お手本の 字の かたちを よく見、ていねいに こく かきましょう。
「とめる」「はねる」「はらう」に 気をつけて かきましょう。
- ③ **さんすうの もんだいを とく。**
 - ・ けいさんカードや けいさんドリル、プリントなどの もんだいを やりましょう。
- ④ **いきものについて、しらべる。**
 - ・ じぶんのきになる いきものをしらべて、ノートにかいてみましょう。
- ⑤ **え日きをかく。**
 - ・ きょうのできごとを、にっきにかいてみましょう。

☆かてい学しゅうがおわったら…

- おうちの人にやったことを見せ、こたえあわせをしてもらいましょう。
- おうちの人と、学しゅうしたことをふりかえりましょう。
- じかんわりをたしかめ、つぎの日のじゅんびをしましょう。



2年生「家てい学しゅう」の行い方^{おこな} ^{かた}

～学しゅうの じゅんびは ひとりでできる～

☆めあて

- ④ いえに帰ったら、きまった時こくに 学しゅうを はじめましょう。
- ⑤ 毎日 かならず 学しゅうを しましょう
- ⑥ 学しゅうは、テレビや どうがを 見ないで やりましょう。

☆かてい学しゅうのまえに！

- ・ 学校からのおたよりは、お家の^{うち}の人にわたしましたか。
- ・ 学しゅうする場^ばしよは、かたづいていますか。
- ・ しせいやえんぴつのもちかたは、^{ただ}正しいですか。



☆かてい学しゅうのないようやほうほう

①音読のれんしゅう

- ・ 大きな口をあけて、すらすら読めるようになるまで、れんしゅうしましょう。
- ・ お家の人に聞いてもらいましょう。

②かん字のれんしゅう

- ・ かん字ドリルをつかって、学しゅうしましょう。
- ・ 読み方やおくりがなも、たしかめましょう。^か
「とめる」「はねる」「はらう」に気をつけてていねいに書きましょう。

③算数のもんだいをとく。

- ・ 計算ドリルやきょうかしよ、プリントなどのもんだいをときましょう。
- ・ やりおわたたら見直し、お家の人に答え合わせをしてもらって、まちがえたところはやり直しましょう。

④日記を書く。

- ・ 日にちを書いて、心にのこったできごとをくわしく書きましょう。

☆かてい学しゅうがおわたたら

- お家の人にやったことを見せ、答え合わせをもらいましょう。
- 学しゅうけいかくに、ふりかえりをかきましょう。
- 時間わりをたしかめ、つぎの日のじゅんびをしましょう。



3年生「^{かてい}がくしゅう^{おこな}」の^{かた}行い方

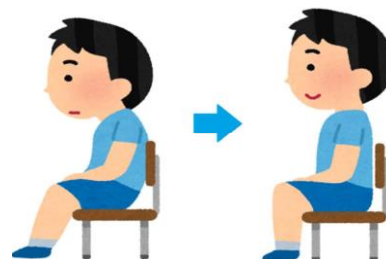
～時間いっぱい 集中できるよ～

☆めあて

- ① いえに帰ったら、決まった時刻に学習を始めましょう。
- ② 毎日40分を目標に、学習しましょう。
- ③ 授業の復習以外にも、できそうな学習に挑戦しましょう。

☆かてい学しゅうのまえに！

- ・ 学校からのおたよりは、家の人にわたしましたか。
- ・ 学しゅうする場所は、かたづいていますか。
- ・ しせいやえんぴつの持ち方は、正しいですか。



☆かてい学しゅうのないようやほうほう

① 音読の練習

- ・ 文章をすらすら読めるように練習し、家の人に聞いてもらいましょう。

② 漢字の練習

- ・ 漢字ドリルなどで学習し、ていねいに書きましょう。
- ・ やり終わったら見直し、家の人に答え合わせをしてもらったり、自分で答え合わせをしたりして、まちがえたところはやり直しましょう。

③短歌や俳句

- ・ 短歌や俳句を音読したり、暗しょうしたり、自分でつくったりしてみましょう。

④算数の問題をとく

- ・ 教科書の練習問題、計算ドリルの問題をときましょう。
- ・ やり終わったら見直し、家の人に答え合わせをもらったり、自分で答え合わせをしたりして、まちがえたところはやり直しましょう。

④社会・理科などのよう点まとめ

- ・ 教科書の大切なところを、ノートに写したり、まとめたりしましょう。自分の興味のある内容を調べてみるのもよいです。

☆かてい学しゅうがおわったら

- 家の人にやったことを見せ、コメントや◎○△等の評価をもらいましょう。
- 学しゅうけいかくに、ふりかえりを書きましょう。
- 時間わりをたしかめ、次の日のじゅんびをしましょう。



4年生「^{かていがくしゅう}家庭学習」の^{おこな}行^{かた}い方

～自分で見つけ 学習ができる～

☆めあて

- ① 家に帰ったら、決まった時刻に学習を始めましょう。
- ② 毎日50分を目標に、がんばって勉強をしましょう。
- ③ 授業の復習以外にも、自主的な学習に取り組みましょう

☆家庭学習の前に！

- ・ テレビやゲームのスイッチは消しましたか。
- ・ 勉強する場所は、きれいに片付いていますか。
- ・ ^{しせい えんぴつ}姿勢や鉛筆の持ち方は、正しいですか。



☆家庭学習の^{ないよう}内容や^{ほうほう}方法

①音読の練習

- ・ 文章をすらすら読めるように練習し、家の人に聞いてもらいましょう。

②漢字の練習

- ・ 漢字ドリルや教科書を使って、正かくに、ていねいに練習しましょう。

③ことわざや^{こじせいご}故事成語

- ・ 国語じてんを使って、ことわざや故事成語の意味を調べたり、それを使って短文を作ったりしてみましょう。

④算数の問題

- ・ 教科書の練習問題、計算ドリルなどをとき、やり終わったら見直し、自分で答えあわせをして、間違えたところはやり直しましょう。

⑤社会・理科・音楽などの要点まとめやおさらい

- ・ 教科書の大切なところを、ノートに写したり、まとめたりしましょう。
- ・ 都道府県の場所と名前を覚えたり、リコーダーの練習をしたりしましょう。

☆かてい学しゅうがおわったら

- 家の人にやったことを見せ、コメントや◎○△等の評価をしてもらいましょう。
- 学しゅうけいかくに、ふりかえりを書きましょう。
- 時間割を確かめ、次の日の準備をしましょう。



5年生「家庭学習」の行い方

～自分で計画を立てやりぬく～

☆めあて

- ① 家に帰ったら、決まった時刻に学習を始めましょう。
- ② 毎日60分を目標に、がんばって勉強をしましょう。
- ③ 自分で、自分の力をつけるために、自主的な学習にも取り組みましょう。

☆家庭学習の前に！

- ・ テレビやゲームのスイッチは消しましたか。
- ・ 勉強する場所は、きれいに片付いていますか。
- ・ 姿勢や鉛筆の持ち方は、正しいですか。



☆家庭学習の内容や方法

①音読の練習

- ・ 漢字を含め、文章をすらすら読めるように練習しましょう。

②漢字練習

- ・ 漢字ドリルや教科書で学習し、正確に覚えて練習しましょう。
- ・ 新出漢字や苦手な漢字を熟語で練習しましょう。

③算数の計算問題・文章題・図形問題を解く練習

- ・ 教科書の練習問題、ドリルなどの問題を解き、やり終わったら見直し、自分で答え合わせをして、間違えた問題はやり直しましょう。

④社会・理科の要点整理

- ・ 教科書の大切なところを、ノートに写したり、まとめたりしましょう。

⑤授業の復習や予習

- ・ その日や次の日の教科書の内容を読んで、ノートにまとめてみましょう。

⑥自主学習

- ・ きしゅう既習事項や生活経験、しゃかいてきじしゅう社会的事象等の興味・関心をもったことについて、調べたりまとめたりして、他の人にも伝えられるようにしましょう。

☆かてい学しゅうがおわったら

- 自分の学習を振り返り、家の人にも伝えて、コメントや◎○△等の評価をしましょう。
- 学習計画に、ふりかえりを書きましょう。
- 時間割を確かめ、次の日の準備をしましょう。



6年生「家庭学習」の行い方

～70分以上 集中して力をつける～

☆めあて

- ① 家に帰ったら、決まった時刻に家庭学習を始め、集中しましょう。
- ② 毎日70分以上、自分にふさわしい学習をしましょう。
- ③ 中学校進学に向け、自分の力をつけるために、自主的な学習に取り組みましょう。

☆家庭学習の前に！

- ・ テレビやゲームのスイッチは消しましたか。
- ・ 勉強する場所は、きれいに片付いていますか。
- ・ 姿勢や鉛筆の持ち方は、正しいですか。



☆家庭学習の内容や方法

①音読の練習

- ・ 漢字を含め、文章をすらすら読めるように練習しましょう。

②漢字練習

- ・ 漢字ドリルや教科書で学習し、正確に覚えて練習しましょう。
- ・ 新出漢字や苦手な漢字を熟語で練習しましょう。

③算数の計算問題・文章題・図形問題を解く練習

- ・ 教科書の練習問題、ドリルなどの問題を解き、やり終わったら見直し、自分で答え合わせをして、間違えた問題はやり直しましょう。

④社会・理科の要点整理

- ・ 教科書の大切なところを、ノートに写したり、まとめたりしましょう。

⑤授業の復習や予習

- ・ その日や次の日の教科書の内容を読んで、ノートにまとめてみましょう。

⑥自主学習

- ・ きしゅう既習事項や生活経験、しゃかいてきじしゅう社会的事象等の興味・関心をもったことについて、調べたりまとめたりして、他の人にも伝えられるようにしましょう。

☆かてい学しゅうがおわったら

- 自分の学習を振り返り、家の人にも伝えて、コメントや◎○△等の評価をしましょう。
- 学習計画に、ふりかえりを書きましょう。
- 時間割を確かめ、次の日の準備をしましょう。



おすすめの学習

自分で課題を決めて取り組む学習を、自主学習といいます。家庭学習も、自主学習の一つです。教科・領域のいろいろな授業に関する内容から、個人的な興味・関心による内容、夢や目標に繋がる内容も立派な自主学習になります。



☆教科に関する内容

生活科の授業で習ったこと
(自然見つけ、栽培や飼育等)の実践

家庭科の授業で習ったこと
(裁縫、調理、買い物等)の家庭での実践

音楽科の授業で習った実技
(歌・鍵盤ハーモニカ・リコーダー等)の練習

図画工作科の授業で習った実技
(絵画や工作等の造形)の復習や発展

体育科の授業で習った実技
(縄跳びや輪車等の用具を使った運動、マット、鉄棒等の器械運動、走・跳・投の運動、家族や友達とのボール運動、リズムダンスなど)の練習

分かったこと、気付いたことを記録



☆その他

季節を見つけたり感じたりする
自然観察や体験活動

社会で起きた出来事についての
ディスカッションや調査

新聞記事を読んで、自分の意見を
まとめる

親子で、同じ本を読んだり、同じ
映像を見たりしての感想交流

地域にある商店、施設、官庁、
寺院、神社等へのお出かけ

地域の人々へのインタビュー
活動、地域行事への参加

「単なる体験」で終わってしまうのではなく、体験活動に家族や友達との「対話」や「感じたこと、分かったこと、考えたこと」を文章（メモ程度でOK）に記録し、言語化しましょう。そうすることで“学び”へと発展していきます。

自分に必要なもの、自分に相応しいこと、自分らしい「家庭学習」を、創意工夫して行っていけるようにすることこそが「自ら進んで学ぶ力」の育成に結びつくと考えています。

◆お願い

各学年の実態に応じて「学校からの宿題」を出すこともありますし、担任の作成した「音読カード」などの提出を求めることもあります。
ご理解・ご協力の程、よろしくお願いいたします。



